ORIGINAL EROTIC FANTASY COMIC

乳首蟲（ちくびむし）

知老樹と命の雫

THE DUNGEON OF WISE

異種間 孕ませ 長乳首
触手 膨乳 IF物語

OVER 18 ONLY
らばた工房

Welcome to LARVATURS！

夢と、魔法と、淫獣の国へようこそ

「乳首蟲　知老樹と命の雫」

魔法使いの伝令係
ボルックは
衰弱していた

彼女との
幾度かの冒険で
無理をしたからだ

彼の生命力は
日ごとに
細く弱く
なっていく

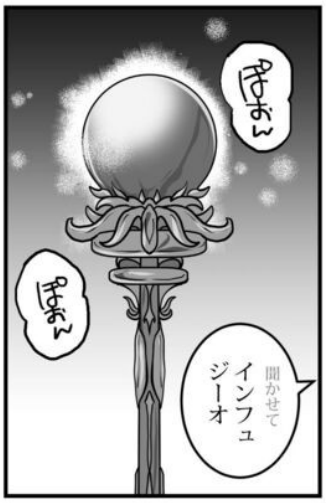
魔法使いは
生命力を回復する
効果のある
アイテム

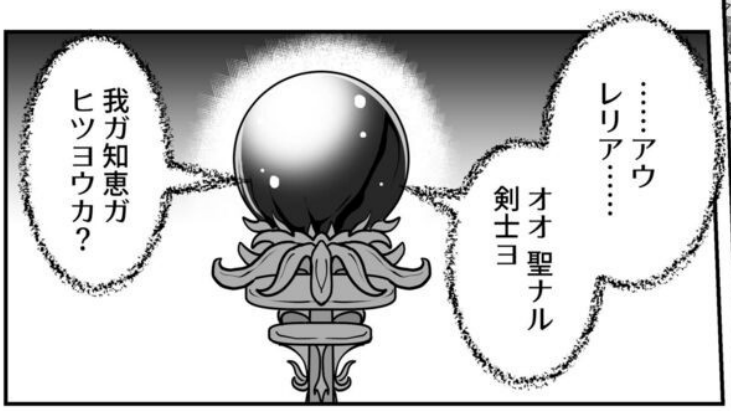
「命の雫」を
手に入れる為に
「知老樹の迷宮」へ
降りた

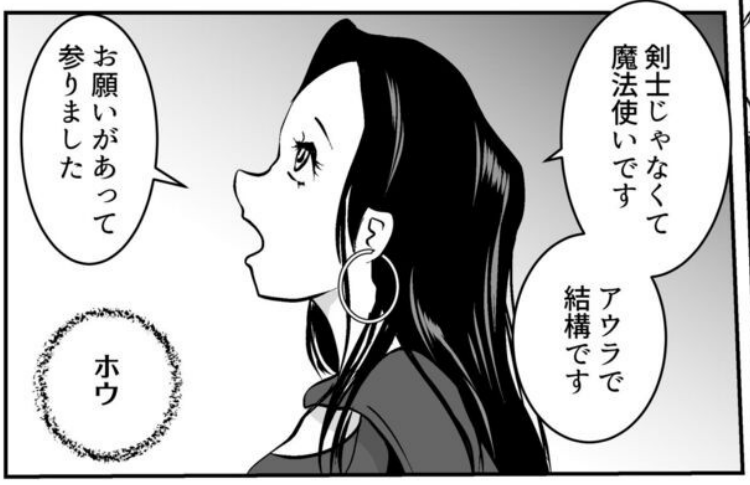
ごきげんよう お邪魔します

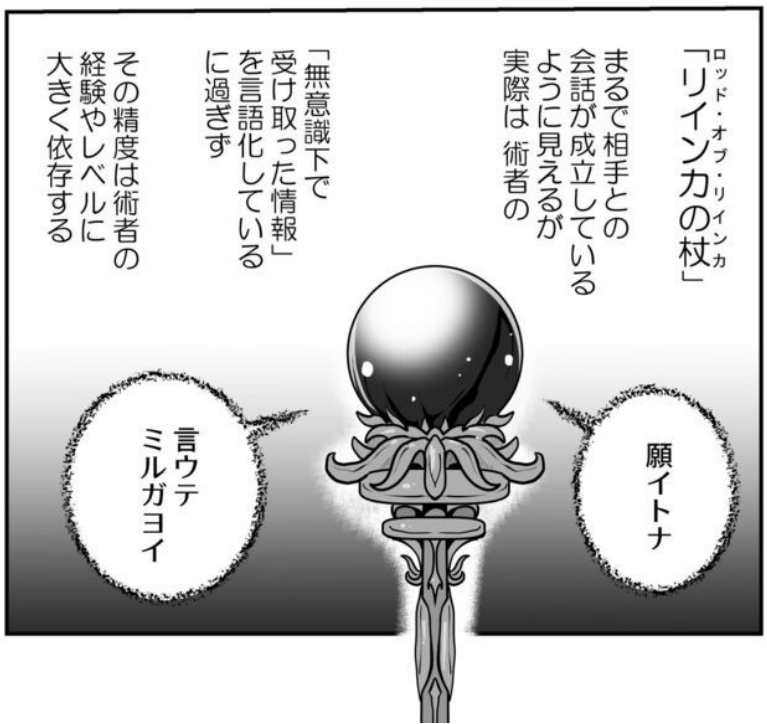
アウレリア です

アウラ：AURA
高位魔法使い









ソレハ尊キ心掛ケジャ
心優シキヒツジカイ
エカテリーナよ
魔法使いですアウラです
「命の雫」ノ生成ハトテモ時間ガカカルものダ……
シカシ偶然ヒトツダケアル
オマエノ優シサに免ジテサズケヨウ

知老樹様のご配慮に深く感謝致します
コノ雫ハ壊レヤスイ
はいっ存じております
コノヨウニ尖ッタモノハ充分注意……
えっちょっえっ
ぱんっ!!
ええええー!!

なななななんて事を!!
大丈夫ジャモウヒトツアル
ココじゃ
ホレ
にょきっ
にょきっ
にょきっ
にょきっ
ありがとうございます
ご無礼をお許し下さい
御枝(みえだ)に乗らせて頂きます

そ そそうなんですか良かった……
ひとつだけと……
ちょっと高い所にありますね
届くかな
コレデ登ルガヨイ

はっ
も……もう ちょっと で……
届きそう ……
ん？
ゴッ
ゴッ
えっ
えっ
うにょっ
うにょっ
ひあぁぁっ
ガプッ
ガプッ
ああ あのー
オオ ソレハ ワシノ 親友ジャ
……ご親友を 「ソレ」呼ばわり なんですね
うにょ
にょっ にょっ

エカテリーナよ
モノは相談ジャ
ガナ……

アウラです

最近ソレハ
ロクナ栄養ヲ
トッテオラン

少シ分ケテ
ヤッテハ
モラエンカノ
……

オマエの
マナを

うえぇぇ
ウエェッテ
言ッタカ？

言ってない
ですね

でもこの
ご親友様一度
噛みつくと

ぎゅうぅ

ぎゅうぅぅ

なかなか
取れない
んですよ

私あまり
時間が無くて

問題ナイ

ソレガ満足スレバ
勝手ニ外レル

ソレを外スコトガ
「命の雫」の
交換条件ジャ

ソノ為ニ
部屋モ用意
シテアル

満足？
部屋!?

降ろすゾ

きゃっ

ドスン

えっ!?
えっ？

杖に付いて
来るがヨイ

……まぁ
そうよね

簡単には
行かない
わよね

いたた…

待っててね

ボルック

小部屋
【罪人の牢獄】

はぁっ
はぁっ
はぁ
ゴリッ
ゴリッ
ゴリッ
ゴリッ
ぢゅっ
ぢゅっ
ぢゅるっ
ズプッ
ズプッ
ズプッ

「ボリモラ」
Bolimora

ふぁ…
んぁっ
あっ
ゴリッ
ゴリッ
ゴリッ
ぢゅるっ
ぢゅっ
ぢゅっ
ぢゅっ
グギュ
グギュ
グギュ

ソノ獣ハ
コノ牢獄デ
長い時を
過ゴシテイル

アットイウ
間に射精
するジャロウ

ぁぁっ
ぁぁっ
ぁぁっ
ぁっ
ぁっ

モンスターから射精された精液はアウラを内側から犯し
乳首からはマナを滲ませる
「乳首蟲」はこのマナを喜んですすった
良イ顔ジャアウラよ
サア次ガ待っトルゾ
チト滑るゾ足元気をツケテナ

小部屋
【源泉混合
調整室】

グローグ：Gulork
（エリヒゲミズトカゲ）。

ザパーン！

おっ

おっ

んっ

ズッ

ズッ

あ
あっ
あっ
あぁっ
ジュゴッ
ジュゴッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ジュゴッ
ぢゅるっ
ぢゅるっ
ぢゅるっ

乳首蟲は
乳首に噛みつきながら
微量な毒液を
乳房の中に注入する

アウラの乳房は
まるで水果実のように
大きく膨れていた

毒液と快楽で
乳首はずっと勃起
させられたまま

乳首蟲の
イボだらけの「舌」が
乳首の外側 内側を
刺激し続ける

ジュポッ
ジュポッ

乳首を
犯されながら
別のモンスターに
射精される

モンスターの精液は
マナの分泌を促し
母乳に混じる

それをまた
乳首蟲が吸うのだ

快楽に快楽が重なり
意識を保つのも
難しくなる

しかしボルックへの
気持ちだけが
アウラを支えていた

マダマダ
外れナサソウ
ジャノウぅ

親友ガ
羨ましいゾ！

早ヨ早ヨ
次の部屋ジャ

フォホホォー

はぁ
はぁ
ちょ……
ちょっと待って

ねえもう
結構吸って
るよね
満足した
でしょ？
はぁ
はぁ
うトよっ
私ちょっと
急いでるの
うトよ

ごめんね
もう……
ぐぐぐっ……
ギィギィ
外すわよ

ボッ
ッュルルルッ
ボッ
ッュルルッ
ボッ
ッュルルッ

ギュッ
ギュッ

言い忘れたガ
親友は
触られルのが
嫌いジャ
粘液を
吐き出しテ
抵抗スルゾ
そしてその
ポンポンは
ドコデモ
貼り付く
壁に触らぬ
よう注意ジャ
のーホホホ

オット
次の部屋ハ
ワシは入れん
宜しくナ
狭くて
蒸シ暑イ
場所は
苦手デノ
蒸し暑い
のは
無視無視
ジャー
ヒョホ
ホホー
なん
なのよ
……
もう
……

小部屋
【源泉 管理室】

杖によればこの小さき者たちは迷宮の整備をする者たちとの事

暑い湯気が立ち込める小部屋で

アウラは導かれるままに体を与えた

抵抗しても時間を浪費するだけなのだ

コビト族（パルバ種）
Palva

この部屋すごく暑い

はぁ

頭がクラクラする

手は壁に貼り付いて取れないし…

「整備員」ってコビト族じゃない

純粋な種をこき使うなんて……

ん？待って……

……ひょっとして

ねぇ整備員さんならひょっとして

「この」取り方知ってる？

え!?本当に？知ってるの？

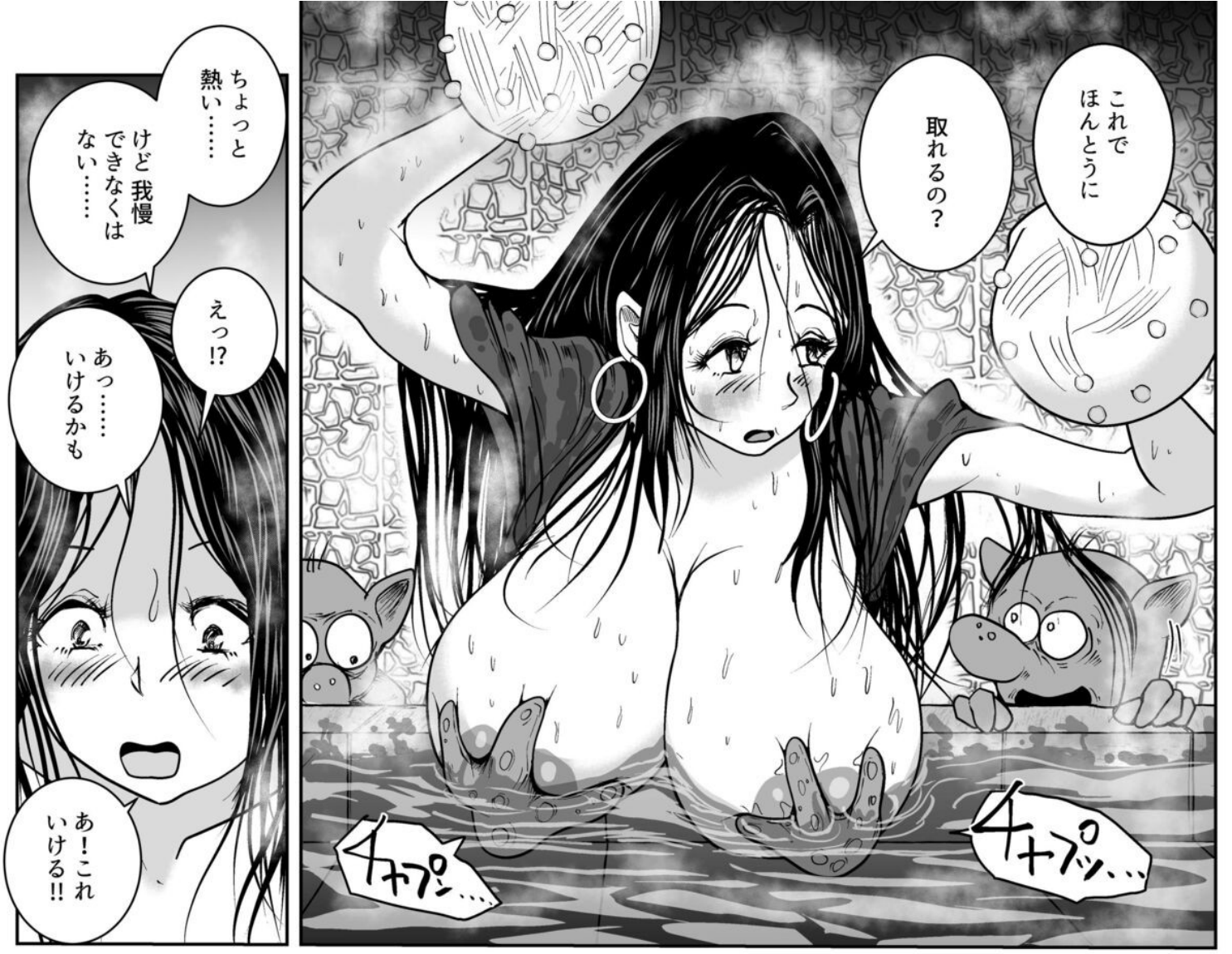
お願い取って欲しいの

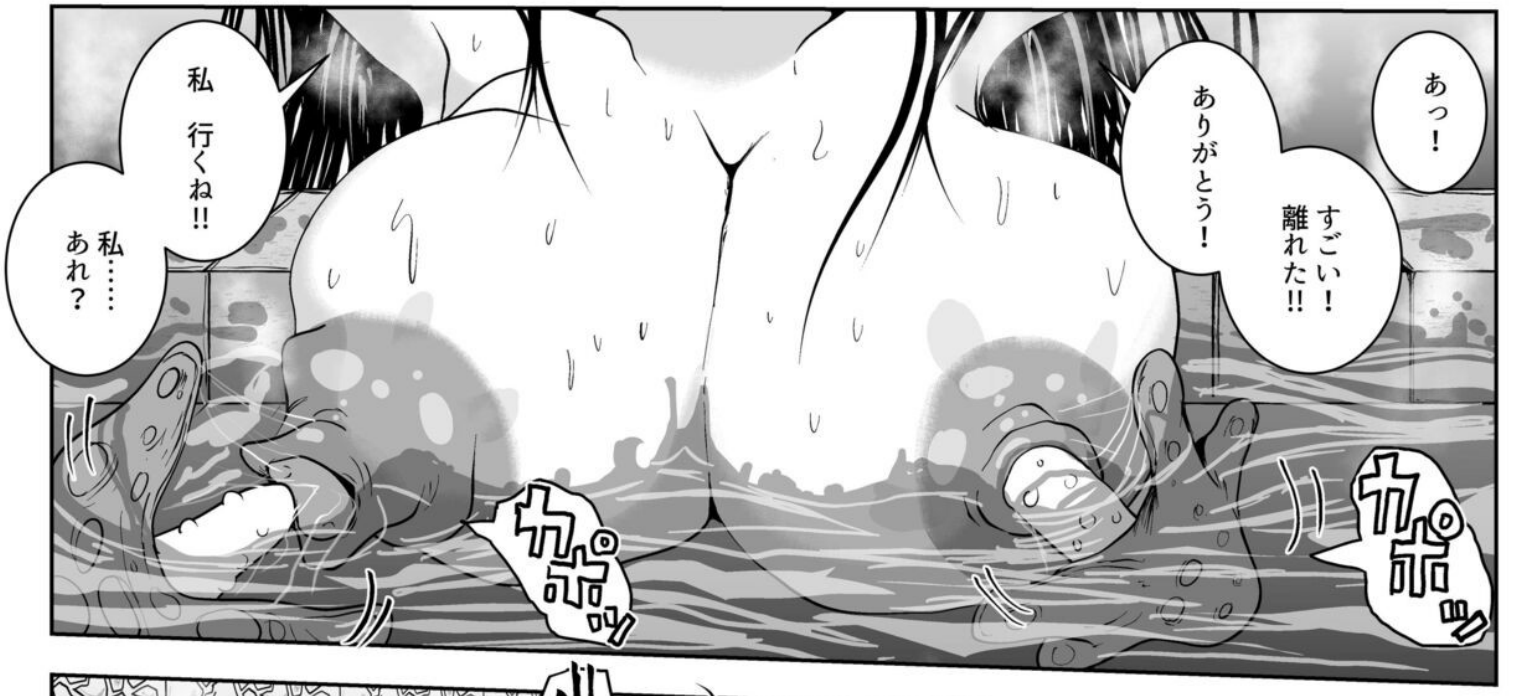
え……その代わりに……？
ん……わかったみんな……ね
好きなだけ射精していいから
そうしたら取ってよね
……いいよ続けて

契約成立
アウラはここにいる全員分の射精を受け入れた
そして無事に……

そっか…「これ外して」って指示が雑だったわよね……
確かに「壁から」は外れたわ
できれば「手からポンポンを」……
……いや待って代償が必要なら要望は最優先事項の解決にすべきね

ねぇ整備員さん
ひょっとしてこの「蟲」も取れたりするかな!?
……え!? 取れるの？ お願いお願い!! 取って!!
【源泉口】


これでほんとうに取れるの？
ちょっと熱い……
けど我慢できなくはない……
えっ!?
あっ……いけるかも
あ！これいける!!
チャプン…
チャプッ…


あっ！
すごい！離れた!!
ありがとう！
私　行くね!!
私……あれ？
カポッ
カポッ

しまったこれ　あの
手がまた
くっついて……
ベタッ
これをあの……

アウラは
「お礼」を支払う
ことになった

乳首蟲で
ガバガバにされた
アウラの乳首には

彼らの男根が
代わる代わる
挿入され

彼らの精液が
注入された

この蒸気の
立ち込める
蒸し暑い小部屋で

アウラは
彼らの人数分
喘がされた

アウラは
彼らの射精を
すべて受け入れると

やっと外れた
「ご親友」と
知老樹の元へ

ヤツラめ 外し方ヲ 教えおったナ
マァ ヨイ 我ガ友も 満足 シタのジャろう
親友が世話に ナッタな ジョセフィーヌよ
ア…… アウラです
ご……親友 さま……も お喜び頂けた よう……で

杖を通シテ オマエの 「美味さ」ハ
充分に 感じラレタ
ヤハリ 魔法使いハ イイ
剣士ト違っテ 体が柔ラカ 食ッタラ
あの

すみません 約束の 「命の雫」を ……
オオ ソウじゃッタ

コレジャ
割らぬ ヨウにニナ
あ…… ありがとう ございます！

あ あの すみません もうちょっと
もうちょっと 下げて頂け ますか？

コレハスマン ドレ ワシが
えっ…… ちょっ
持ち上ゲテ ヤロウ
やめっ…… わあああああ
にょえっ

オヤ　肥大化シタ胸が重そうジャノ？
ぎゅう
いえも大丈夫ス大丈夫デス
ソウソウ親友は他にもマダおるデノ
親友たちヨこの不憫な魔法使いの胸を
待ってくそれじゃ約束が違
吸ってヤロウではナイカ？
ボロン
ボロン
待っで待っで…ぐだ……ざい
お願いもう無理……で
む……でいでず……
やめ……
ぎゅう

乳首蟲はその男根をアウラの乳房の中に埋めた
吸ってない吸ってない
挿入(いれ)てます挿入てます
拡張された乳首に強烈な刺激が走る
ズブブ
ズブブ
ズブブ
ウムム…イマイチマナが薄いヨウジャノウ……
ぎゅう
オットコレはワシとした事が
孕ませてヤランとナ
あ
バタバタ
バタバタ
にゅるる

ズッズッズッ
ズッズッズッ
じんっ
じんっ
ビュルル
ビュッ
ビュッ
あぁ
じんーっっ
ゴリッゴリッゴリッ
ボゴッ
あぁっ!!!
ブッコッ
ブッコッ
まだこんなに マナを 出せるでは ナイか
ビュッ
ビュッ
ソウかアウラよ 喉が渇いてるノ ジャッタな
あぁ
はぁ
はぁ
はぁ
あ…っ
コレを飲む ガヨイ
カラダが回復 スルゾ
ぞれ……わ 持ち帰り…… まず……
飲メ 飲メ
嫌…… ずず
飲むガヨイ 飲むガヨイ

ごくっ!!
ガポッ
マァ 遠慮セズニ 飲メ
ごくっ!!
ごくごくっ!!
サァ アウラよ 「命の雫」ヲ 飲み干セ
オマエの 渇いたノドも 水を欲しがって オルゾ?
「命の雫」デ オマエの カラダに マナを溢れ させろ
ブボッ
ブボッ
ブボッ ブボッ
ブギュッ
ブギュッ
ブギュッ
ブギュッ
シカシ オヌシは 気持ちイイ 女ジャノウ
こんな 「アナ」は 久しブリじゃ
ブブッ
ブブッ
ワシの 溜まった 精液モ
ごくっ
ごくごくっ
オヌシの 腹に 射精(ダ)さセテ モラウカノ

飲メ!!アウラよ!!「命の雫」を飲め!!
ぐんっ
喘ゲ!!
もっと腰を振レ!!
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ガーン
ガーン
ガーン
んぐっ
んぐっ
んぐっ
知老樹のピストン運動に合わせて乳首蟲もアウラの乳首を擦る
アウラは乳首と膣を同時に激しく擦られ快楽に悶え苦しむ
んっ
んっ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ

アウラは何度もイかされる

知老樹は大量の精液を注ぎ込み

アウラはそれをひたすら受け入れるしかなかった

ゴッ ゴッ ゴッ ゴッ ゴッ ゴッ ゴッ ゴッ

ぢゅるっ ぢゅっ ぢゅっ ぢゅっ ぢゅっ

飲メ!!

「命の雫」を飲むノダ!!

マダ飲まぬカ!?

無能な生き物よ!

ブボッ ブボッ ブボッ ブボッ

オマエのカラダでワシに奉仕セヨ!!

人間ナドソノ程度シカ役に立タン!!

サッサと飲まんカ!!

飲メ!!

飲ンデワシノ

ぢゅっぢゅっ ぢゅっ ぢゅるるっ

養分トナレ!!

ぐがぁー

TRUE END

EXTRA STAGE IF

もしも アウラが「命の雫」を
飲んでしまっていたら……

アウラの体は
回復し　体つきも
より肉感的になる

精液を大量に
注がれたまま
体力を回復して
しまうと

体は　より強い
快楽を求める

体が
モンスターとの
性交に

最適化されて
しまうのだ

邪魔ジャ
虫ケラめ!!

ソノ穴は
ワシが
挿入レル!!

蟲に拡張された
アウラの乳首も

さらなる快楽を
求めて
硬く勃起する

女よ
至高ノ
快楽ヲ!

与えテ
ヤロウ!

アウラは
うしろめたさ
からか
快楽に
抗おうとする
……

が……

その抵抗は
数秒も
もたなかった
乳首からは
最も濃厚な
マナが噴き出す
獲物が
「堕ちた」
合図
「食べごろ」だ

旨いイ!!
魔法使イは実に旨い!!
このオンナ
ナント美味ジャ!!
コノ歯ゴタエ!!
ブッ
ブッ
ブッ

アウラは

この年老いた
樹のバケモノに
喰われてしまった

しかし
アウラの命は
「雫」となって

また誰かを
癒すだろう

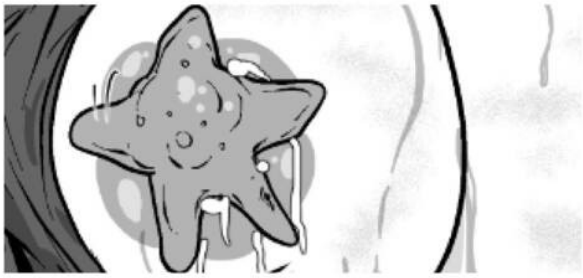
樹の下では
アウラから
噴き出された
体液を

乳首蟲たちが
美味しそうに
舐めていた

BAD END

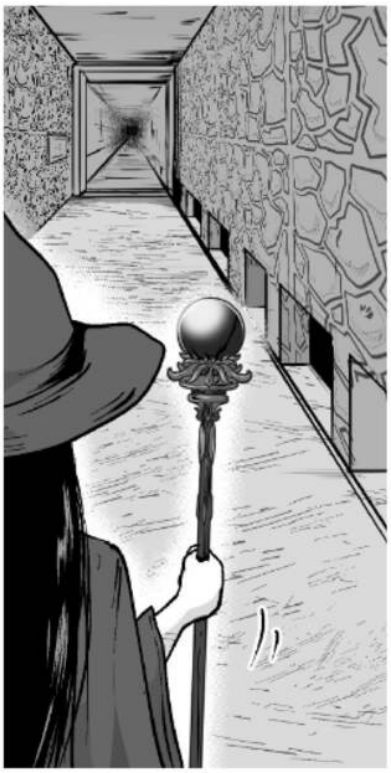
SETTING

【アウラ（アウレリア・グラノジェルス）】
かなり高位の魔法使いとのことだが、アウラが実際に強力な攻撃魔法を使用しているところを見たものはあまりいないので、今は「変わり者」といった肩書のほうがよく知られている。ただ、実際に、それなりの魔力が無ければ生還できない冒険を繰り返しているので、その実力は相当なものだろう。相棒のボルックはその度に大ピンチになっていたりするが、居心地が良いようで、今のところアウラの元を離れることはなさそうだ。



【乳首蟲】
女性の乳首に噛みつき、ひたすらマナを吸い続ける蟲。もともとレア種だったのだが、昨今、被害の報告が相次いでいる。好んでマナを与える者がいるのかもしれない。全身が筋肉で、口面には歯が付いているので、なので、無理やり引きちぎったりすると、乳房がダメージを受ける。筋肉は緩ませるに限る。

【知老樹の迷宮：ダンジョン オブ ワイズ】
かつて、名だたる魔法使いたちが、その知識を得るために赴いた。その通路や小部屋はきちんと管理されており、さながら、何らかの施設のようだ。
その、通路や小部屋には、地下のロビーまで引き込む水路が並走しており、力尽きたり、快楽失神した冒険者などはその水路で「待機室」に運ばれる。そこで「品定め」を受けて、その後の対応が決まったりする。
奥の広間にいる知老樹は１つの訪問につき、１つ、何でも答えてくれる。その知識を得る際に、代償として謎かけやクエストがあり、これに失敗すると大変な目に合う。
本来、隠されたこの迷宮の入り口から訪れるのは、それなりに学びを得た魔法使い達だけだった。しかし「集合知」の発達により様々な情報が一般化され、最近は文字通り「入れ食い」状態だという。
謎かけに失敗したのに生還した、いわゆる「魅力に欠ける」冒険者によれば、昨今は、「本当に旨い女がくるのは極まれだ」と知老樹が嘆いているそうだ。
面倒なジジイである。
また、いくつかの部屋には温泉がある。その昔はここが「若返りの泉」として魔法使い達に重宝されたが、ちょうど高齢の女魔法使い達がこの温泉を独占するようになった頃に、その効果がなくったと言われている。



【人型モンスター：ボリモラ】
人型のモンスター。知能が低く、力が強い。報酬をきちんと与え、命令を上手く伝えられれば、力仕事や、ガードマンなどの作業もやってくれる。ただ、やめ時や力加減が解らず、よく施設を破壊してしまう。首や鎖をつけているが、その気になれば簡単に引きちぎることが出来るだろう。でもそれをしないのは、ここにいることが彼にとってメリットがあるからだ。
体が大きく、力が強く、精力旺盛、さらにはその見た目のモフモフ具合から、一部の女性たちに人気が高い種族でもある。
＊人型モンスターは、人間に対して組織的な攻撃をしないので、獣人とは区別されている。

【トカゲ型モンスター：グローク】
エリヒゲミズトカゲ。フィールドにもいる、珍しくない存在。エリヒゲは伸びて触手のようになり、攻撃や確保に使えるが、ここにいると女が勝手に流れてくるので、そういった攻撃もしなくなった。きれいな水を好む。直射日光が苦手。性格は本来獰猛な種だが、この個体はずいぶん性格が穏やかだ。衣食住が足りると人は穏やかになるのだろう。衣もないし人でもないが。

【コビト族：パルバ種】
コビト族とは、この世界を影で支える小さき者たちの総称。温厚で、争いを好まず、モノをつくったり荒れた土地を整備したりする事が大好き。森の中なのにレンガが敷き詰められた道があったりするのはすべて彼らの仕事。この迷宮のボリモラの世話をしているのも彼らだ。
彼らは自分たちの使用するもの以外は、何故か「おおきなものたち」のサイズで作る。「おおきなおんな」つまり人間の女性の体が大好き。着衣のままを好むのは、実際に自分たちで裁縫もこなすからだろうか？稼働時の男根は巨大。

【古代黒曜樹：知老樹】
前世代からある古い黒曜樹の一種。歳月を重ね、深い思考や知恵を持つようになったもの。昨今（といっても数百年単位だが）では、黒陽樹の立ち枯れが問題視されており、その原因は人間の魔法使用だとする学者もいる。現在、黒陽樹の新たな若芽は確認されていない。
本個体の樹齢は６万年程度だと推定される。６万年同じところで立っていれば、ボケが始まるのも仕方ない。味の良かった女の名前は覚えているようだ。

【リインカの杖：ロッドオブリインカ】
ブラックオーブを利用した、「モンスターと対話が出来るアイテム」。しかし、杖の発する言葉は、術者の能力を通しているので、その言葉の正確性は術者の能力に依存する。なお、術者の能力が高ければ、接続状態の杖は、自分で移動することも出来るし、その杖が見たもの、感じたものを対象モンスターに伝えることが出来る。
他にも攻撃力強化、またサブウェポン（予備魔法）の自己発動、ホームポイント設定も可能。冒険終了後、残 MP 関係なく、瞬時に帰還することができるのは魅力だ。
なお、「翻訳機能」の使用中は常に術者の MP を消費し続けるので、よほど高位の魔法使いでないと、長い会話をするのは難しい。
手に入れること自体は、それほど難しいアイテムではない。しかし前述のとおり、なにせ、使える者が少ないのでその結果、いくらオーブファクト（＝オーブ使用のアイテム）とは言え、売れ残り状態になっている。この杖を持ち、さっそうと冒険に赴く魔法使いの姿は、あまりにもあこがれるが、杖に MP を吸い取られて行き倒れては世話が無い。モンスター交渉が必要なクエストで、あなたが熟達者でないのなら、素直にギルドでリインカを雇うことだ。目玉が飛び出るほど高額ではあるが。

【命の雫】
知老樹の樹液を抽出した実。生成には１年かかる。人間、獣人、動物問わず、数滴摂取するだけで体力が超回復する。本編中の実は、まだ若く、この時期はまだ外皮が硬化していないが、その効用については問題ない。ただ、あまり甘くない。成熟した実は外皮が硬くなるので、携帯がしやすくなる。もちろん超レアアイテム。この「知老樹」のみの産物という訳ではなく、古い黒曜樹からは、抽出が可能。露天商で売ってるボトル詰めの安価なモノはほとんど偽物だが、瀕死状態で口にする水は、まさにその効果を感じるだろう。

ATOGAKI

最高気温が 36℃とかじゃ、もう驚かなくなっております昨今、皆様いかがお過ごしでしょうか。この度はお買い上げありがとうございました。制作者の高石です。　この数週間の最後の追い込みで連日のデスクワークに体がかたまりまくってしまい、これは早朝の涼しいタイミングでジョギングしたろと普段まずしない事をやってみた結果、現在ふくらはぎがツリまくってる上に何故か、体中が何をしていても痛いです。もっか、階段は手すりが無いと登れません。おじいちゃん！

今回もアウラさんが体を張って、頑張ってくれました。楽しんで頂けたら幸いです。アウラさん、知老樹の迷宮をあっという間に最奥までたどり着いていますが、ほんとうはもう少し、道のり長いです。地下 5F ぐらいあります。どうやらアウラさん道知ってるので、ひょいひょい行ってますが、トラップあり、隠し通路ありで、詳しくない者にとってはそこそこの難関です。詳しくない者達のそういう本も描けると良いナ（やりたいことだけはどんどん積まれていく）。

前回の「乳首蟲」（2019 年、まだコロナ襲来の前なのね）のでは「今回は、乳首蟲という焦点がぼやけたので、次回はアウラが乳首蟲の攻めにひたすら耐える本を描きたい」みたいなことを駄文ブログで言ってますが、今回も見事にぼやけましたね。主役、老木ですもんね。ビバおじいちゃん。この辺りはもう、作者の力不足としか。シンプルな題材で読ませるモノを描ける人はホントすごいと思います。

そうそう、上手い人の本って、線がすごくシンプルで少ないのに、質感を感じますよね。自分の描く本の誌面が、やたらごちゃごちゃしてて見にくいのはもう、すみません、こういうものだと、お許しください。ヘタはとことん描き込まないと鑑賞に耐えられるものにならないのです。え、描き込んでもなってないって？フフフ、まぁね（開き直るな

バッドエンド分岐に関しては、なんていうんでしょうか、キャラを愛する心が膨らむほどに、この闇を見たいという思いが同じだけ増幅していきます。そういうのありません？彼女が辛いのはすごく嫌なんですけど、それを想像するとゾクゾクしてしまう自分というのもおりまして（うわ）、おそらく皆様も同じかと（やめれ

さて、皆さんお待ちかねの高石近況です。今回、この夏コミ C104 には、数冊の新刊がある予定でした。しかしまんまと、半年間、なにをやっていたんでしょうか。いや、決してボケーっとしていたつもりは無いのですが。下手の考え休むに似たり。似たりどころか、結果、休んでます。ようやく締め切りギリギリで完成したのがこの 1 冊です。

「生活に追われて原稿が出来ない」ってなんかもっともらしい理由にも聞こえるんですが、半年間 30P の原稿が描けないってのはもはや、何かが間違っている訳です。自分の時間はすべて自分で使えた昔を基準にしてるので、これはつまり「1 日 10 時間の作業時間が取れない限り同人活動はできない」って考えてるのが既にわけわかめです。もうすこし描いていたいので、体と時間の使い方にあった制作環境と、ライフワークとしての作品「MonsterTours!」についても、方向性を整えたいです。しょっちゅう言ってるな。

先ほど、冬コミ C105 の申し込み案内メールが来ました。参加申し込みはするつもりです。お席頂ければ良いな。それと冬コミ、今年は大みそか開催じゃないみたいです。多くのコミケ参加の皆さんと同じように、「あれ、大みそかってどうやって過ごせばいいんだっけ？」という不安を既に感じています。この酷暑の日々にダウンコートで溢れるビックサイトを思い起こすのはなかなかのブレインダムドです。

実は、このあとがき書くの 4 稿目で、めちゃくちゃ時間かかってます。バカだろ？否定はしません。原稿中の出来事、公約ゼロ達成の都知事再選。トランプさん暗殺未遂。戦争中の平和の祭典パリオリンピック。これおかしいよね？変だよねみたいなことをグダグダ書いて、さすがに高石あとがきとは言え、これはウザいだろうと。ボツリヌス菌です。

ただ、そこで書きたかったことは、「あれ、世の中虚構じゃね？ルールに見せかけたルールがあるだけで、ウソばっかりじゃね？」ってことで。脳が判断しやすいようにリアルを区別してるだけで、既に虚構の中に生きていくという認識があったほうが良いよね、そこでおすすめの虚構あるよ、らばたって世界だよみたいな宣伝もしなやかに混ぜ込んでもみました。

権力者の武器、私たちをじわじわと蝕む「不安」という攻撃を受け続けると、腐った土壌が心の中に作られます。その土壌の上に心があると、何でも言うことを聞いてしまいます。どうせ世の中虚構なら、心の帰る場所としての虚構だってあっても良いんじゃないか？と。「小さな心の故郷」をいくつも持つことは、じわじわとその土壌を修復しますよね、善玉菌ですね、ビフィズスですね。R-1 菌の本名はラクトバチルス・ブルガリクス (Lactobacillus bulgaricus)OLL1073R-1 だそうです。知らんがな。

創作同人界隈の片隅にかろうじて生きる雑菌らばた工房がなにを世界語ってるんだという感じですが、自分の目的は、常連の皆様に心すこやかに在って頂く事で。高石はもうそこそこのおじさんなので、広く世界は救えないんですけど、いや若い時から救った記憶はないんですけど、自分の両手を広げた状態で触れらる範囲にあるタマシイに関しては、良くあって欲しい、と願うものです。

~~全その~~近隣のタマシイに祝福と健康を。創造力を引き出す同人菌らばた 1。　2024 年 8 月　高石ふう

【奥付】　・誌名：「乳首蟲　知老樹と命の雫」

・初版：2024 年 08 月 12 日（C104）　印刷：株式会社 栄光　・著者：高石ふう / X：@lavatakoubou

・サークル名：らばた工房（ErotiocFantasy ラーバタス）　https://www.larvaturs.info

See you on the
next adventure!

"らばた工房"
告知用 X
Erotic Fantasy
LARVATURS
らばた工房